

2021 年 5 月薬事審議会結果

新規採用薬は薬事審議会開催の翌月 1 日（休日の場合は休み明け）より、処方可能となります。切替え、削除薬は、院内在庫がなくなり次第随時となります。

1. 新規採用医薬品

採用区分	医薬品名/薬効	備考
特定患者	ミッドペリック L135 腹膜透析液 (1.5L 排液用バッグ付) / 腹膜透析液	
特定患者	ニコペリック 腹膜透析液 (1500mL) (排液用バッグ付) / 腹膜透析液	
採用	ベネクレクタ錠 10mg/ 抗悪性腫瘍剤/BCL-2 阻害剤	
採用	ベネクレクタ錠 50mg/ 抗悪性腫瘍剤/BCL-2 阻害剤	
採用	ベネクレクタ錠 100mg/ 抗悪性腫瘍剤/BCL-2 阻害剤	
院外採用	アレジオン点眼液 0.05%/ 抗アレルギー点眼剤	ゼベリン点眼液 0.1%採用中止
採用	ニトプロ持続静注液 6mg/ 血圧降下剤	
用時購入	エンハーツ点滴静注用 100mg/ 抗悪性腫瘍剤/抗 HER2 抗体 トポイソメラーゼ I 阻害剤複合体	
用時購入	ヤーボイ点滴静注液 50mg/抗悪性腫瘍剤/ヒト型抗ヒト CTLA-4 モノクローナル抗体	
採用	ビムパット点滴静注 100mg/ 抗てんかん剤	ベンザリン錠 5 採用中止
用時購入	ラボナ錠 50mg/催眠・鎮静剤	アレビアチン散 10%採用中止

2. 後発品変更医薬品

【新規採用】 後発医薬品名	【切替え】 先発医薬品名
アガルシダーゼベータ BS 点滴静注 5mg 「JCR」	ファブラザイム点滴静注用 5mg
アガルシダーゼベータ BS 点滴静注 35mg 「JCR」	ファブラザイム点滴静注用 35mg
エスゾピクロン錠 1mg 「DSEP」	ルネスタ錠 1mg
ラタノプロスト点眼液 0.005% 「ニットー」	キサラタン点眼液 0.005%

3. 採用区分変更医薬品

医薬品名	採用区分（変更前→変更後）
ベムリディ錠 25mg	採用→用時購入
タンニン酸アルブミン「メタル」	採用→用時購入
メサペイン錠 5mg	採用→用時購入
メサペイン錠 10mg	採用→用時購入
ピラマイド原末	採用→用時購入
アイクルシグ錠 15mg	採用→用時購入
ガベキサートメシル酸塩注射用 100mg「タカタ」	採用→用時購入
ガベキサートメシル酸塩注射用 500mg「タカタ」	採用→用時購入
ネオキシテープ 73.5mg	採用→院外採用
エクセグラン散 20%	採用→院外採用
フェノバル散 10%	採用→院外採用
ツムラ麻杏よく甘湯エキス顆粒（医療用）	採用→院外採用
セレニカ R 錠 200mg	用時購入→院外採用
セレニカ R 錠 400mg	用時購入→院外採用

4. 規格追加・規格変更・名称変更採用医薬品

規格追加・変更・名称変更医薬品名	備考
シムジア皮下注 200mg オートクリックス	シリンジ製剤からの変更
イオパミドール 300 注 20mL「F」	オイパロミン 300 注 20mL から名称変更
イオパミドール 300 注 50mL「F」	オイパロミン 300 注 50mL から名称変更
イオパミドール 300 注 100mL「F」	オイパロミン 300 注 100mL から名称変更
イオパミドール 370 注 50mL「F」	オイパロミン 370 注 50mL から名称変更
イオパミドール 370 注 100mL「F」	オイパロミン 370 注 100mL から名称変更
イオパミドール 300 注シリンジ 100mL「F」	オイパロミン 300 注シリンジ 100mL から名称変更
イオパミドール 370 注シリンジ 80mL「F」	オイパロミン 370 注シリンジ 80mL から名称変更

5. 採用中止医薬品

医薬品名	中止前採用区分	備考
ゼペリン点眼液 0.1%	院外採用	アレジオン点眼液 0.05%採用のため
ベンザリン錠 5	院外採用	ビムパット点滴静注 100mg 採用のため
アレビアチン散 10%	院外採用	ラボナ錠 50mg 採用のため
ファブラザイム点滴静注用 5mg	特定患者	先行バイオ医薬品へ変更のため
ファブラザイム点滴静注用 35mg	特定患者	先行バイオ医薬品へ変更のため
シムジア皮下注 200mg シリンジ	用時購入	剤形変更のため
オイパロミン 300 注 20mL	採用	名称変更のため
オイパロミン 300 注 50mL	採用	名称変更のため
オイパロミン 300 注 100mL	採用	名称変更のため
オイパロミン 370 注 50mL	採用	名称変更のため
オイパロミン 370 注 100mL	採用	名称変更のため
オイパロミン 300 注シリンジ 100mL	採用	名称変更のため
オイパロミン 370 注シリンジ 80mL	採用	名称変更のため
流動パラフィン「マルイシ」	採用	院内製剤で使用しなくなったため
テグレート細粒 50%	院外採用	使用患者少
ヒダントール F 配合錠	院外採用	使用患者少
安息香チンキ	採用	使用患者少
セフジトレンピボキシル小児用細粒 10%「OK」	採用	メイアクト MS 小児用細粒 10%で代用
プロタノール L 注 0.2mg	採用	使用患者少
マーカイン注 0.5%	採用	使用患者少

6. 院内製剤

院内製剤名	採用/削除	備考（分類）
なし		

7. その他

なし

8. 次回薬事審議会は、2021 年 7 月 21 日（水）、場所は研修棟 3F 講義室の予定です。